



Cisco IP 会議用電話 7832 ユーザガイド

初版：2017年8月30日

最終更新：2021年7月12日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2017–2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

電話機 1

その Cisco IP 会議用電話 7832	1
機能のサポート	2
新規および変更情報	2
ファームウェアリリース 14.1(1) の新規および変更情報	3
ファームウェアリリース 14.0(1) の新規および変更情報	3
ファームウェアリリース 12.8(1) の新規および変更情報	3
ファームウェア リリース 12.7(1) の新機能および変更された機能	3
ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報	3
ファームウェア リリース 12.5(1) SR3 の新規および変更情報	4
ファームウェア リリース 12.5(1) SR2 の新規および変更情報	4
ファームウェアリリース 12.5 (1) SR1 の新規および変更情報	4
ファームウェア リリース 12.5(1) の新規および変更情報	4
ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報	4
電話機のセットアップ	5
会議電話機への給電方法	5
ネットワークへの接続	5
アクティベーションコード オンボーディングで接続する	5
Expressway への接続	6
電話機のアクティブ化とサインイン	6
電話機へのサインイン	6
別の電話機からの内線へのサインイン	6
別の電話機で内線からログアウトする	7
セルフケア ポータル	7

短縮ダイヤル番号	8
Cisco IP 電話 7832 のボタンおよびハードウェア	9
電話機のキーパッド文字	11
会議電話のメニュー操作	11
会議電話のソフトキー	11
会議電話の画面	12
電話のアイコンを使用	12
電話画面のクリーニング	12
通話と回線の違い	13
電話ファームウェアとアップグレード	13
電話機アップグレードの延期	13
電話機ファームウェア アップグレードの進捗状況の確認	13
省電力	14
電話機の電源を入れる	14
追加のヘルプと情報	14
アクセシビリティ機能	15
の	15
視覚障がい者向けアクセシビリティ機能	16
運動障がい者向けアクセシビリティ機能	18
サードパーティのアクセシビリティ アプリケーション	19
トラブルシューティング	19
電話機に関する情報の検索	19
通話品質の問題を報告する	20
電話機のすべての問題を報告する	20
電話機の接続の切断	20
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	21
第 2 章	通話 23
コールの発信	23
電話をかける	23
番号のリダイヤル	23

短縮ダイヤル	24
会議電話からの短縮ダイヤル発信	24
短縮ダイヤルコードを使用して発信	24
国際番号のダイヤル	24
連絡先が対応可能な場合の通知	24
課金コードまたは承認コードを必要とするコール	25
安全なコール	25
コールへの応答	25
コールに応答する	25
会議電話でコール ウェイティングへ応答する	26
コールの拒否	26
応答不可をオンにする	26
同僚の電話機に応答する (コール ピックアップ)	26
グループ内のコールに応答する (ピックアップ)	26
別のグループからのコールへの応答 (グループ ピックアップ)	27
関連するグループからのコールの応答 (その他のピックアップ)	27
ハントグループ内のコールへの応答	28
ハント グループへのログインとハントグループからのログアウト	28
ハント グループでの通話キューの表示	28
不審なコールのトレース	29
コールのミュート	29
コールの保留	29
コールを保留にする	29
長時間にわたって保留されているコールに応答する	29
アクティブコールと保留コールの切り替え	29
コールパーク	30
コールパークを使用してコールを保留にする	30
コールパークを使用して保留中コールを取得する	30
手動ダイレクト コールパークを使用してコールを保留状態にする	31
手動ダイレクト コールパークを使用して保留中コールを取得する	31
コールの転送	31

通話の転送	32
別の担当者にコールを転送する	32
転送を行う前の会話	32
電話会議とミーティング	33
コールへの別のユーザの追加	33
会議を確立する前にコール間を切り替える	33
会議参加者の表示と削除	33
スケジュール済み電話会議（ミーティング）	34
ミーティング会議の開催	34
ミーティング会議への参加	34
通話の録音	34
ボイスメール	34
新しいボイス メッセージの確認	35
ボイスメール メッセージへのアクセス	35

第 3 章**連絡先 37**

社内ディレクトリ(Corporate Directory)	37
社内ディレクトリの連絡先のダイヤル	37
パーソナルディレクトリ	37
パーソナルディレクトリのサインインおよびサインアウト	38
パーソナルディレクトリに新しい連絡先を追加する	38
パーソナルディレクトリの連絡先の検索	38
パーソナルディレクトリ内の連絡先への発信	39
ファストダイヤルコードの連絡先への割り当て	39
ファストダイヤルコードを使用した連絡先への発信	39
パーソナルディレクトリの連絡先を編集する	40
パーソナルディレクトリから連絡先を削除する	40
ファストダイヤルコードの削除	40
Cisco Web Dialer	41

第 4 章**通話履歴 43**

最近の通話リスト	43
最近の通話履歴を表示する	43
最近の通話履歴に戻る	44
最近の通話履歴を消去する	44
コールレコードの削除	44

第 5 章
設定 47

呼出音の変更	47
着信音量の調節	47
コール中に音量を調節する	47
電話機の表示言語	48

第 6 章
の製品安全性とセキュリティ 49

安全性とパフォーマンスの情報	49
停電	49
外部デバイス	49
電話機への電力供給方法	50
ネットワーク輻輳時の電話機の挙動	50
UL 警告	50
ENERGYSTAR	50
製品ラベル	51
準拠宣言	51
EU への適合宣言	51
CE マーク	51
適合宣言 (カナダ)	51
ニュージーランドへの適合宣言	52
接続許可 (PTC) 一般警告	52
適合情報 (ブラジル)	52
適合情報 (日本)	52
FCC 準拠宣言	52
FCC Part 15.19 宣言	52

FCC Part 15.21 宣言 53

FCC RF 被曝に関する宣言 53

FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言 53

シスコ製品のセキュリティの概要 53

重要なオンライン情報 54



第 1 章

電話機

- [その Cisco IP 会議用電話 7832 \(1 ページ\)](#)
- [新規および変更情報 \(2 ページ\)](#)
- [電話機のセットアップ \(5 ページ\)](#)
- [電話機のアクティブ化とサインイン \(6 ページ\)](#)
- [セルフケア ポータル \(7 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話 7832 のボタンおよびハードウェア \(9 ページ\)](#)
- [電話ファームウェアとアップグレード \(13 ページ\)](#)
- [省電力 \(14 ページ\)](#)
- [追加のヘルプと情報 \(14 ページ\)](#)

その Cisco IP 会議用電話 7832



電話機は 360 度の無指向性高感度マイクを備えています。最大で 2.1 m (7 フィート) 離れた場所からでも、相手にはっきりと聞こえます。また、携帯電話やその他のワイヤレスデバイスからの干渉に抵抗する技術が採用されており、妨害のないクリアな通信の提供を保證します。

他のデバイスと同様に、Cisco IP 電話は設定し、管理する必要があります。これらの電話機は、次のコーデックのエンコードとデコードを行います。

- G.711 a-law
- G.711 mu-law
- G.722
- G.722.2 AMR-WB
- G.729a/G.729ab
- G.726
- iLBC
- Opus
- iSAC



注意 セル方式の電話、携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを Cisco IP 電話のすぐ近くで使用すると、相互干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生するデバイスの製造元のマニュアルを参照してください。

Cisco IP 電話は、コール転送や転送、リダイヤル、短縮ダイヤル、会議コール、ボイスメッセージングシステムへのアクセスなど、従来のテレフォニー機能を提供します。Cisco IP 電話では、さらにその他の各種の機能も提供します。

さらに、Cisco IP 電話はネットワーク デバイスであるため、詳細なステータス情報を電話機から直接取得することができます。この情報は、ユーザが IP 電話を使用しているときに生じた問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。また、アクティブコールに関する統計情報や、ファームウェアのバージョンも電話機で取得できます。

機能のサポート

新規および変更情報

以下のセクションの情報を参照すると、マニュアルの変更内容を理解できます。各セクションには、主な変更点が記載されています。

ファームウェアリリース 14.1(1) の新規および変更情報

ファームウェア リリース 14.1(1) にはユーザーガイドの更新は必要ありません。

ファームウェアリリース 14.0(1) の新規および変更情報

表 1: 新規および変更情報

機能	新機能および変更情報
ハントグループの機能拡張	最近の通話リスト (43 ページ)

ファームウェアリリース 12.8(1) の新規および変更情報

表 2: ファームウェアリリース 12.8(1) の新規および変更情報

機能	新しいまたは変更されたコンテンツ
電話データの移行	

ファームウェア リリース 12.7(1) の新機能および変更された機能

次の表に、ファームウェアリリース 12.7(1) で加えられた変更を示します。

表 3: ファームウェアリリース 12.7 (1) に関する Cisco IP 会議用電話 7832 ユーザガイドの改訂

改訂	更新されたセクション
コールアラートのハントグループコール用に更新されました	ハントグループ内のコールへの応答 (28 ページ)
一般的な変更	特定の状況において、ビジーの番号をダイヤルしたユーザが、再発注トーンを受信しました。このリリースでは、ユーザは話中音が聞こえます。 新規セクション 電話のアイコンを使用 (12 ページ)

ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報

ファームウェア リリース 12.6(1) にはユーザガイドの更新は必要ありません。

ファームウェア リリース 12.5(1) SR3 の新規および変更情報

次の表は、ファームウェアリリース 12.5 (1) SR3 に対して行われた変更を示しています。

表 4: ファームウェアリリース 12.5(1)SR3 に関する Cisco IP 会議用電話 7832 ユーザガイドの改訂

改訂	新規または更新されたセクション
新しいトピック	電話機のキーパッド文字 (11 ページ)

ファームウェア リリース 12.5(1) SR2 の新規および変更情報

ファームウェアリリース 12.5 (1) SR2 に関するユーザガイドの更新は必要ありません。

ファームウェアリリース 12.5 (1) SR2 は、ファームウェアリリース 12.5 (1) およびファームウェア 12.5 (1) SR1 に代わるものです。ファームウェアリリース 12.5 (1) およびファームウェアリリース 12.5 (1) SR1 は、ファームウェアリリース 12.5 (1) を優先して使用が延期されています。

ファームウェアリリース 12.5 (1) SR1 の新規および変更情報

次の表は、ファームウェアリリース 12.5 (1) SR1 に対して行われた変更を示しています。

表 5: ファームウェアリリース 12.5(1)SR1 に関する Cisco IP 会議用電話 7832 ユーザガイドの改訂

改訂	新規または更新されたセクション
アクティベーションコードによるオンボーディング	アクティベーションコードオンボーディングで接続する (5 ページ)

ファームウェア リリース 12.5(1) の新規および変更情報

ファームウェア リリース 12.5(1) に必要な更新はありませんでした。

ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報

次の表に、ファームウェアリリース 12.1 (1) に加えられた変更を示します。

表 6: ファームウェアリリース 12.1 (1) に関する Cisco IP 会議用電話 7832 ユーザガイドの改訂

改訂	新規または更新されたセクション
Expressway 経由モバイルおよび Remote Access のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークへの接続 (5 ページ) Expressway への接続 (6 ページ)

改訂	新規または更新されたセクション
CMC と FAC のサポート	課金コードまたは承認コードを必要とするコール (25 ページ)

電話機のセットアップ

電話機のセットアップとネットワーク接続は管理者が行います。電話機の設定と接続が完了していない場合は、管理者に手順を問い合わせてください。

会議電話機への給電方法

会議用電話には、次のいずれかの電源からの給電が必要です。

- LAN 経由の Power over Ethernet (PoE)。
- Cisco IP 電話パワー インジェクタ。

ネットワークへの接続

電話機をネットワークに接続する必要があります。

電話機をネットワークに接続すると、次のように電話機が設定される場合があります。

- Expressway 経由モバイルおよび Remote Access：管理者が Expressway 経由モバイルおよび Remote Access を設定していて、電話機がネットワークに接続されている場合、Expressway サーバに自動的に接続されます。

アクティベーションコード オンボーディングで接続する

ネットワークがこの機能をサポートするように設定されている場合、アクティベーションコード オンボーディングを使用して、会社の電話ネットワークに接続することができます。

アクティベーションコードを入力する

アクティベーションコードは、新しい電話機の設定に使用されます。1 回のみ使用でき、1 週間後に有効期限が切れます。コードがわからない場合や新しいコードが必要な場合は、管理者に連絡してください。

手順

ステップ 1 アクティベーション画面にアクティベーションコードを入力します。

ステップ 2 [送信] を押します。

Expressway への接続

手順

ユーザ名とパスワードを入力します。

電話機のアクティブ化とサインイン

場合によっては、電話機をアクティブ化したり、電話機にサインインしたりする必要が生じることがあります。電話機に対してアクティブ化を一度行うことで、電話機がコール制御システムに接続されます。サインインおよびアクティブ化のクレデンシャルはシステム管理者より与えられます。

電話機へのサインイン

始める前に

ユーザ ID と PIN（暗証番号）またはパスワードを管理者から取得します。

手順

ステップ 1 [ユーザ ID (User ID)] フィールドにユーザ ID を入力します。

ステップ 2 [PIN] または [パスワード (Password)] フィールドに PIN またはパスワードを入力して、[送信 (Submit)] を押します。


別の電話機からの内線へのサインイン

Cisco Extension Mobility を使用すると、ネットワーク内の別の電話機にログインして、それを自分の電話機と同じように動作させることができます。ログインした後、その電話機には、電話回線、機能、設定済みサービス、ウェブベースの設定などの自分のユーザプロフィールが適用されます。Cisco Extension Mobility サービスのセットアップは管理者が行います。

始める前に

ユーザ ID と PIN（暗証番号）を管理者から取得します。

手順

- ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
- ステップ2 [エクステンションモビリティ (Extension Mobility)] を選択します (名前は異なる場合があります)。
- ステップ3 ユーザー ID と PIN を入力します。
- ステップ4 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。

別の電話機で内線からログアウトする

手順

- ステップ1 [エクステンションモビリティ (Extension Mobility)] を選択します。
- ステップ2 [はい (Yes)] を押してログアウトします。

セルフケア ポータル

コンピュータからアクセス可能なセルフ ケア ポータル Web サイトで、いくつかの電話機設定をカスタマイズできます。セルフケア ポータルは、組織の Cisco Unified Communications Manager の一部です。

セルフケア ポータルにアクセスするための URL、およびユーザー ID とパスワードが管理者から通知されます。

セルフ ケア ポータルでは、電話機の機能、回線設定、電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。
- 回線の設定は、電話機の特定の電話回線 (電話番号) に影響します。回線設定には、不在転送、ビジュアルおよびオーディオ メッセージ インジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。
- 電話機サービスには、特別な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報 (株式相場、映画情報など) が含まれます。電話サービスを電話機で利用するには、その前にセルフ ケア ポータルを使って電話サービスを登録する必要があります。

セルフ ケア ポータルを使用して設定できるいくつかの機能を次の表に示します。詳細については、ご使用のコール制御システムに関するセルフ ケア ポータルのマニュアルを参照してください。

表 7: 自己管理ポータルで利用できる機能

機能	説明
コール転送	電話で自動転送が有効になっているときに着信を受ける番号を使用します。セルフケアポータルを使用すると、より複雑なコール転送機能（回線がビジー状態の場合の動作など）をセットアップすることができます。
追加の電話機	固定電話と同じ電話番号で電話を発信/受信するために使用する、携帯電話などの追加の電話を指定します。また、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可するために、連絡先のブロックや選好を定義することもできます。さらに、追加の電話機をセットアップするときには、次の機能も設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • シングルナンバーリーチ：自分のデスクフォンに着信したとき、追加の電話機の着信音を鳴らすかどうかを指定します。 • モバイルコール：追加の電話機が携帯電話である場合、モバイルコールからデスクフォンに、またはデスクフォンのコールから携帯電話に転送されるようセットアップできます。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤル番号に電話番号を割り当てると、その相手にすばやく電話をかけることができます。

関連トピック

[モバイルコネクトを使用した通話](#)

[短縮ダイヤル](#) (24 ページ)

[コールの転送](#) (31 ページ)

短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルする際には、一連の数字（ディジット）を入力します。短縮ダイヤル番号を設定する際には、コールに必要なすべてのディジットを短縮ダイヤル番号に含める必要があります。たとえば、外線に接続するために9をダイヤルする必要がある場合は、9番を押してからダイヤルしたい番号を押してください。

また、ダイヤルする他のディジットを番号に追加することもできます。追加のディジットの例として、会議アクセスコード、内線、ボイスメールパスワード、承認コード、課金コードなどがあります。

ダイヤル文字列に含めることができる文字はつぎのとおりです。

- 0～9
- シャープ (#)
- アスタリスク (*)

- コンマ (,) : 一時停止記号であり、ダイヤリング中に2秒の遅延を挿入します。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2つのカンマ (,,) は、4秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- ダイヤル文字列の各部分を分離するには、カンマを使用します。
- 短縮ダイヤル文字列では、常に課金コードの前に承認コードを含める必要があります。
- 文字列内の承認コードと課金情報コードの間に1つのコンマが必要です。
- 承認コードおよび追加のディジットを含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤルラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、ディジットシーケンスを手動で少なくとも1回ダイヤルしてみても、内容が正しいことを確認してください。

短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加のディジットは、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使って宛先に接続した後に **[リダイヤル (Redial)]** を押すと、電話機に必要な承認コード、課金情報コード、または追加の数字を手動で入力するよう求められます。

例

承認コードと課金コードが必要な状況で、特定の内線の相手に電話するために短縮ダイヤル番号をセットアップするには、次の要件を考慮してください。

- 外線の **9** をダイヤルする必要があります。
- 通話先の番号は **5556543** です。
- 承認コード **1234** を入力する必要があります。
- 課金コード **9876** を入力する必要があります。
- 4秒ほど待機します。
- 電話がつながった後、内線 **56789#** をダイヤルする必要があります。

このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は **95556543,1234,9876,,56789#** となります。

関連トピック

[課金コードまたは承認コードを必要とするコール](#) (25 ページ)

[電話機のキーパッド文字](#) (11 ページ)





Cisco IP 電話 7832 のボタンおよびハードウェア

次の図は Cisco IP 会議用電話 7832 です。

図 1: Cisco IP 会議用電話 7832 の各ボタンと機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 7832 の各ボタンを示します。

1	ミュート バー	 ミュートバーは、マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンをミュートにすると、LEDバーが赤く点灯します。
2	LED バー	コール状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブ コール • 緑（点滅）：着信コール • 緑（速い点滅）：保留中のコール • 赤、点灯：ミュート中のコール
3	ソフトキー ボタン	 機能とサービスにアクセスします。
4	ナビゲーションバーと [選択 (Select)] ボタン	 メニューをスクロールして項目を強調表示し、強調表示された項目を選択できます。 アイドル状態の電話機で、[上 (Up)] を押すと最近の通話リストにアクセスでき、[下 (Down)] を押すとお気に入りリストにアクセスできます。
5	[音量 (Volume)] ボタン：	 スピーカーフォンの音量（オフフック）と着信音の音量（オンフック）を調整します。 音量を変更するとLEDバーが白く点灯し、音量の変化を表示します。

電話機のキーパッド文字

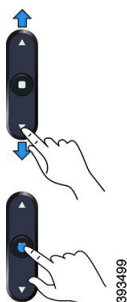
電話機のキーパッドでは、文字、数字、および特殊文字を入力できます。2~9キーを押して、文字と数字を取得します。特殊文字には、1、ゼロ (0)、アスタリスク (*)、およびシャープ (#) キーを使用します。次の表は、英語ロケール用の各キーの特殊文字を示しています。他のロケールにも独自の文字があります。

表 8: キーパッドの特殊文字

キーパッドキー	特殊文字を使用する
1	/.@:;=?_&%
0	(space), ! ^ ' "
アスタリスク (*)	+ * ~ ` < >
シャープ (#)	# \$ £ □ \ () { } []

会議電話のメニュー操作

ナビゲーションバーを使用してメニューをスクロールできます。ナビゲーションバーの内側の [選択 (Select)] ボタンを使用して、メニュー項目を選択します。



メニュー項目にインデックス番号がある場合は、キーパッドでインデックス番号を入力して項目を選択できます。

会議電話のソフトキー

ソフトキーを使用して電話機の機能を操作できます。ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で実行している操作に応じて変化します。

さらに多くのソフトキー機能が利用できることを意味することを示します。

会議電話の画面

電話画面には、電話番号、アクティブコールのステータス、ソフトキーなど、その電話機に関する情報が表示されます。スクリーンにはヘッダー行、中央セクション、フッター行の3つのセクションがあります。




1	スクリーンの最上部にはヘッダー行があります。ヘッダー行には現在の日時と電話番号が表示されます。
2	電話画面の中央にはコールまたは回線に関連する情報が表示されます。
3	画面の最下行にはソフトキーのラベルが表示されます。各ラベルは、スクリーンの下にあるソフトキー ボタンのアクションを示しています。

電話のアイコンを使用

電話画面にたくさんのアイコンが表示されます。このセクションでは、共通アイコンの画像が提供されます。

アイコンは画面に応じて、カラーまたはグレースケールで表示されます。

通話履歴

アイコン	説明
	着信コール
	発信コール
	不在着信

電話画面のクリーニング

手順

電話機の画面が汚れている場合は、柔らかく乾いた布で拭いてください。

注意 電話機に対して液体や粉末を使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

通話と回線の違い

本書で電話機の使用法を説明する際に使っている回線 およびコール という用語には、かなり独特な意味合いがあります。

- アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

たとえば2つの回線があり、各回線で4つのコールがサポートされる場合、一度に最大8つの接続コールが存在する可能性があります。これらのうち1つだけがアクティブで、他の7つは保留中のコールとなります。

電話ファームウェアとアップグレード

電話機には、あらかじめファームウェアがインストールされています。これは、通話制御システムに固有のファームウェアです。

管理者が電話機のファームウェアをアップグレードする場合があります。新しいファームウェアを使用するためには電話機のリセットが必要になるため、このアップグレードは電話機を使用していないときに行われます。

電話機アップグレードの延期

新しいファームウェアが利用可能になると、電話機に [アップグレード準備完了 (Ready to upgrade)] ウィンドウが表示され、タイマーが 15 秒のカウントダウンを開始します。何も操作しなければ、アップグレードが続行されます。

ファームウェアアップグレードは、1 時間延期できます。延期は 11 回まで可能です。また、アップグレードは、コールを発信または着信している際にも延期されます。

手順

電話機のアップグレードを延期するには、[遅延 (Delay)] を押します。

電話機ファームウェアアップグレードの進捗状況の確認

電話ファームウェアのアップグレード中に、アップグレードの進行状況を表示できます。

手順

[終了 (Exit)] を押します。

省電力

管理者は、次のオプションを使用してユーザの電話機の画面で使用する電力量を減らすことができます。

- 省電力：電話機が一定時間非アクティブ状態になるとバックライトや画面がオフになります。
- Power Save Plus：勤務スケジュールに基づいて設定された時間で、電話スクリーンのオン/オフが切り替わります。勤務時間や勤務日が変更になった場合は、電話機を再設定するよう管理者に依頼してください。
- 電源オフの 10 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 7 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 4 分前に 4 回の呼出音

電話機がアクティブな場合は、電源シャットダウンの通知は電話機が非アクティブになってから設定時間が過ぎた後に実行されます。

電話機の電源を入れる

電話機の省エネがオフになっているときには、電話画面は空白で、[選択 (Select)] ボタンが点灯します。

手順

[選択 (Select)] を押して電話機を再度オンにします。

追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がございましたら、管理者にお問い合わせください。

Cisco ウェブサイト (<https://www.cisco.com>) には電話機と通話制御システムに関する詳細が掲載されています。

アクセシビリティ機能

Cisco IP 会議用電話 7832 には、視覚障がい、聴覚障がい、および運動障がいを持つユーザーのためのアクセシビリティ機能があります。これらの機能の多くが標準装備ですので、障がいを持つユーザーは特別な設定をせずにそれらの機能にアクセスできます。

このドキュメント内の「電話機のサポートページ」という用語は、ユーザーが特定の機能をセットアップするためにアクセスする Web ページを指します。Cisco Unified Communications Manager (リリース 10.0 以降) では、これらのページは、セルフケアポータルになっています。Cisco Unified Communications Manager (リリース 9.1 以前) では、これらのページはユーザーオプションの Web ページにあります。

詳細については、次の場所にある電話機のユーザーガイドを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-user-guide-list.html>

シスコでは、組織のニーズに合った、アクセシビリティ機能搭載の製品および技術の設計や提供に取り組んでいます。シスコおよびシスコによるアクセシビリティへの取り組みに関する詳細については、次の URL を参照してください。 <http://www.cisco.com/go/accessibility>

の

会議電話はセットアップがほとんどまたはまったく不要な標準アクセシビリティ機能を備えています。

図 2: 聴覚障がい者向けのアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 7832 の聴覚障害者向けのアクセシビリティ機能を示します。

表 9: 聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能

項目	アクセシビリティ機能	説明
1	LED バー	<p>電話画面に現在の状態が表示され、LED バーは次の情報を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブ コール • 緑（点滅）：着信コール • 緑（速い点滅）：保留中のコール • 赤、点灯：ミュート中のコール
2	電話の状態およびメッセージ待機インジケータのビジュアル通知	<p>電話画面に現在の状態が表示されます。</p> <p>メッセージがあると、電話画面にメッセージが表示されます。また、電話には音声でのメッセージ待機インジケータも搭載されています。</p> <p>可聴ボイス メッセージ インジケータを変更するには、セルフケアポータルにサインインし、メッセージインジケータの設定にアクセスします。ユーザは、設定のオンとオフを変更できます。</p> <p>管理者も設定を変更できます。</p>
3	調整可能な呼出音、音の間隔、および音量	<ul style="list-style-type: none"> • [設定 (Settings)] > [設定 (Preferences)] に順に選択し、呼出音を変更します。 • 電話機の呼出音の音量レベルを調節します。コール中でない場合は、[音量 (Volume)] を押して、音量を調節します。 <p>音量を調整すると、LED バーが白色で点灯してボリュームの増減を示します。</p> <p>管理者も設定を変更できます。</p>

視覚障がい者向けアクセシビリティ機能

電話機には、少しの設定または設定不要で使用できる標準のアクセシビリティ機能が搭載されています。

図 3: 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 7832の視覚障害者向けアクセシビリティ機能を示します。

表 10: 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能

項目	アクセシビリティ機能	説明
1	[ミュート (Mute)] ボタン <ul style="list-style-type: none"> このボタンはLEDバーと画面の上にあります。 	[ミュート (Mute)] ボタンを使用してマイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイク音声ミュートになっているとき、LEDバーは赤色に点灯します。ミュートをオンにすると、電話機でピープ音が1回鳴り、ミュートをオフにすると、電話機でピープ音が2回鳴ります。
2	LEDバーによる着信コールの高コントラストの可視および可聴アラート <ul style="list-style-type: none"> LEDバーは、[ミュート (Mute)] ボタンと画面の間にあります。 	ユーザに着信を知らせます。着信中はLEDが点滅します。 色による電話のステータス表示： <ul style="list-style-type: none"> 緑、点灯：アクティブコール 緑（点滅）：着信コール 緑（速い点滅）：保留中のコール 赤、点灯：ミュート中のコール
3	Cisco IP 電話のコントラストを調節可能なバックライト付きグレースケールLCD画面	電話画面のコントラストを調整できます。

項目	アクセシビリティ機能	説明
4	ソフトキー <ul style="list-style-type: none"> • LCD のすぐ下にあるボタンです。 	特別な機能にアクセスできます。 LCD に機能が表示されます。
5	ナビゲーションクラスタ (ナビゲーションバーと[選択 (Select)]ボタンを含む) <ul style="list-style-type: none"> • ナビゲーションクラスタはキーパッドの右にあります。 	ナビゲーションバーを使用して電話機の LCD で上下に移動できます。 [選択 (Select)]ボタンはナビゲーションバーの中央にあります。
6	標準の 12 キー レイアウト	既存または使い慣れているキーポジションを使用できます。5 番キーには突起が付いています。
7	音量 キー <ul style="list-style-type: none"> • このキーは、キーパッドの左側にあります。 	呼出音や音声の音量を調節できます。 音量を上げる場合はロッカーキーの上側を押します。音量を下げる場合はロッカーキーの下側を押します。 音量を調整すると、LED バーが白色で点灯してボリュームの増減を示します。

運動障がい者向けアクセシビリティ機能

会議電話はセットアップがほとんどまたはまったく不要な標準アクセシビリティ機能を備えています。

図 4: 運動障がい者向けアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 7832の運動障害者向けアクセシビリティ機能を示します。

表 11: 運動障がい者向けアクセシビリティ機能

項目	アクセシビリティ機能	説明
1	LED バー	電話機の状態は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブ コール • 緑（点滅）：着信コール • 緑（速い点滅）：保留中のコール • 赤、点灯：ミュート中のコール
2	触覚認識によるボタンおよび機能（5 番キーにある突起を含む）	電話機のキーの位置が簡単にわかります。たとえば、5 番キーには突起があるため、これによって他のキーの位置がわかります。

サードパーティのアクセシビリティ アプリケーション

シスコは、パートナーと緊密に連携して、シスコ製品とソリューションのアクセシビリティとユーザビリティを補完するソリューションを提供しています。サードパーティ製のアプリケーションとして、Cisco IP 電話でのリアルタイム字幕生成、聴覚障がい者向けテキスト電話（TDD/TTY）、リアルタイム テキスト（RTT）、Hearing/Voice Carry Over（HCO/VCO）、音声による発信者番号通知、通話音量を上げるためのハンドセット用インラインアンプ、「話中ライト」、Cisco IP 電話によるオーディオ/ビジュアル緊急通知（障がいを持つユーザのサポート用）などがあります。

サードパーティ製アプリケーションの詳細については、管理者にお問い合わせください。

トラブルシューティング

次のシナリオに関連した問題が発生する可能性があります:

- 電話機が通話制御システムと通信できない。
- 通話制御システムで通信または内部の問題が発生している。
- 電話機内部で問題が発生している。

問題が発生した場合は、管理者の支援のもとで問題の根本原因をトラブルシューティングすることができます。

電話機に関する情報の検索

管理者から、電話機についての情報を提供するように求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別します。

手順

ステップ1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ2 [終了 (Exit)]を押します。

通話品質の問題を報告する

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、管理者により一時的に、電話機に品質レポートツール (QRT) が設定されることがあります。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールの音声に関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

手順

ステップ1 スクロールして発生した問題に最も近い項目を選択します。

ステップ2 選択 ソフトキーを押すと、システム管理者に情報が送信されます。

電話機のすべての問題を報告する

Cisco Collaboration Problem Report Tool (PRT) を使用すると、通話記録を収集および送信し、管理者に問題を報告できます。PRT アップロードが失敗したというメッセージが表示された場合、問題レポートが電話機に保存されるため、管理者に連絡する必要があります。

手順

ステップ1 [問題の発生日付 (Date of problem)]および[問題の発生時刻 (Time of problem)]フィールドに、問題が発生した日時を入力します。

ステップ2 [問題の説明 (Problem description)]を選択します。

ステップ3 表示されるリストから説明を選択して、[送信 (Submit)]を押します。

電話機の接続の切断

電話機が電話のネットワークと接続していない場合があります。この接続が失われると、電話機にメッセージが表示されます。

アクティブコール中に接続が失われた場合、その通話は継続します。ただし、一部の電話機の機能は通話制御システムからの情報を必要とするため、通常の全ての機能にアクセスできるわけではありません。たとえば、想定どおりにソフトキーが機能しないことがあります。

電話機が通話制御システムに再接続すると、電話機を再び通常どおりに使用できるようになります。

シスコ製品（ハードウェア）に関する1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、Cisco.comの次のURLで提供されています。<https://www.cisco.com/go/hwwarranty>



第 2 章

通話

- コールの発信 (23 ページ)
- コールへの応答 (25 ページ)
- コールのミュート (29 ページ)
- コールの保留 (29 ページ)
- コールの転送 (31 ページ)
- 通話の転送 (32 ページ)
- 電話会議とミーティング (33 ページ)
- 通話の録音 (34 ページ)
- ボイスメール (34 ページ)

コールの発信

電話機は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話を発信できます。

電話をかける

お使いの電話機を他の電話機と同じように使用して電話します。

番号のリダイヤル

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信できます。

手順

[リダイヤル (Redial)] を押します。

短縮ダイヤル

関連トピック

[セルフケア ポータル \(7 ページ\)](#)

[短縮ダイヤル番号 \(8 ページ\)](#)

会議電話からの短縮ダイヤル発信

手順

ステップ 1 ナビゲーションバーを押すか、[お気に入り (Favorites)] を押します。

ステップ 2 短縮ダイヤルエントリを選択して、[コール (Call)] を押します。

短縮ダイヤル コードを使用して発信

始める前に

ユーザオプション Web ページで、コードを設定します。

国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

手順

ステップ 1 アスタリスク (*) を 1 秒間以上押したままにします。

電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。

ステップ 2 電話番号を入力します。

ステップ 3 [通話 (Call)] を押す、または最後にキーを押した後に 10 秒待つ事で自動的に通話を挿入します。

連絡先が対応可能な場合の通知

コールを発信しても相手の回線がビジー状態の場合、または相手が応答しない場合、相手が通話可能になったときに特殊な呼出音とメッセージで通知を受け取ることができます。

手順

- ステップ1** 話中音または呼出音が聞こえているときに、[コールバック (Callback)] を押します。
- ステップ2** 確認画面を終了するには、[終了 (Exit)] を押します。

課金コードまたは承認コードを必要とするコール

電話番号をダイヤルした後に課金コードまたは承認コード（または両方のコード）を入力するよう、管理者が要求する場合があります。クライアント識別コードと呼ばれる課金コードは、アカウントリングや請求の目的で使用されます。強制承認コードと呼ばれる承認コードは、特定の電話番号へのアクセスを制御します。

課金コードと承認コードの両方が必要な場合、まず承認コードを入力するよう求められます。次に、課金コードを入力するよう求められます。

関連トピック

[短縮ダイヤル番号](#) (8 ページ)

安全なコール

社外の人物による不正な改ざんからコールを保護するために、管理者は措置を講じることができます。通話中にロックアイコンが表示されている場合、通話は安全です。電話機の設定によっては、発信する前またはハンドセットからセキュリティトーンが流れる前にサインオンする必要があります。

コールへの応答

Cisco 電話は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話に応答できます。

コールに応答する

手順

[応答 (Answer)] を押します。

会議電話でコール ウェイティングへ応答する

アクティブコール中に別のコールがあると、ビープ音が1回鳴り、会議電話の画面にメッセージが表示されます。

手順

[応答 (Answer)] を押します。

コールの拒否

呼び出し中の着信コールを、ボイスメールシステム（設定されている場合）または設定済み電話番号に送信できます。設定されていないと、コールは拒否され、発信者にはビジー トーンが再生されます。

応答不可をオンにする

電話に出たくない場合は、サイレント（DND）を使用して電話機をサイレントにし、着信コール通知を無視します。

DND をオンにすると、着信コールはボイスメールなどの別の番号（設定されている場合）に転送されます。

関連トピック

[セルフケア ポータル](#)（7 ページ）

同僚の電話機に応答する（コール ピックアップ）

同僚との間でコール処理タスクを共有している場合、同僚の電話機に着信しているコールに応答することができます。まず、管理者が少なくとも1つのコールピックアップグループにユーザを割り当てる必要があります。

グループ内のコールに応答する（ピックアップ）

自分のコール ピックアップ グループ内の別の電話機で鳴っているコールに応答することができます。ピックアップ対象のコールが複数ある場合、呼び出し時間が最も長いコールに応答することになります。

手順

ステップ 1 （任意） 回線ボタンを押します。

ステップ2 自分のピックアップ グループ内の着信コールを自分の電話機に転送するには、[ピックアップ (PickUp)]を押します。

ステップ3 コールが鳴ったら [応答 (Answer)]を押してコールに接続します。

別のグループからのコールへの応答（グループ ピックアップ）

グループ ピックアップを使用すれば、コール ピックアップ グループ以外の電話機でコールに
応答することができます。グループピックアップ番号を使ってコールをピックアップすること
も、鳴っている電話回線の番号を使用することもできます。

手順

ステップ1 （任意） 回線ボタンを押す。

ステップ2 [グループ ピックアップ (Group PickUp)]を押します。

ステップ3 次のアクションのいずれかを実行します。

- ピックアップしたいコールがある電話回線の番号を入力します。
たとえば、コールが回線 12345 で鳴っている場合は、**12345**を入力します。
- グループ ピックアップ番号を入力します。
- [短縮ダイヤル (Speed dials)]を押し、短縮ダイヤル番号を選択します。ナビゲーション
クラスタを使用して、短縮ダイヤルウィンドウ内を上下に移動し、短縮ダイヤル番号を選
択します。

ステップ4 コールが鳴ったら [応答 (Answer)]を押してコールに接続します。

関連するグループからのコールの応答（その他のピックアップ）

手順

ステップ1 （任意） 回線ボタンを押す。

ステップ2 [ピックアップ (PickUp)]を押して、ピックアップグループ内または電話機に関連付けられた
グループ内のコールに応答します。

ステップ3 コールが鳴ったら、[応答 (Answer)]を押してコールに接続します。

ハントグループ内のコールへの応答

ハントグループにより、多数の着信通話がある組織は通話の負荷を分配できます。管理者はいくつかの電話番号を含むハントグループを設定します。ハントグループに対して管理者が指定したハントシーケンスに基づいて、呼出音が鳴ります。ハントグループのメンバーは、コールを受けるときにハントグループにサインインします。電話機でコールの着信音を鳴らさないようにするには、グループからサインアウトします。

ハントグループの設定方法に応じて、次の情報がコールアラートに表示される場合があります。

- 通話を受信する回線。
- 着信用の電話番号。
- ハントグループ名またはパイロット番号。

始める前に

ハントグループコールを受信するには、ハントグループにサインインする必要があります。

手順

手元の電話機でハントグループの通話が鳴ったら、応答します。

ハントグループへのログインとハントグループからのログアウト

ハントグループからログアウトして、ハントグループからのコールの着信を停止します。直接かかってくるコールについては、引き続き着信できます。

ハントグループでの通話キューの表示

ハントグループキューのステータスを確認するには、キュー統計情報を使用できます。キューステータス表示には、次の情報が含まれます。

- ハントグループが使用する電話番号
- 各ハントグループのキューに入っている発信者数
- 最長待機時間

手順

ステップ 1 [キューのステータス (Queue Status)] を押します。

ステップ 2 統計情報の表示を更新するには、[更新 (Update)] を押します。

ステップ3 [終了 (Exit)]を押します。

不審なコールのトレース

迷惑電話や嫌がらせ電話を受信した場合、迷惑呼ID (MCID) を使用して管理者に通知することができます。コールについての情報を含むサイレント通知メッセージが電話機から管理者に送られます。

コールのミュート

通話中に音声をミュートすると、自分の声が相手に聞こえず、相手の声だけを聞くことができます。

手順

ステップ1 [ミュート (Mute)]  を押します。

ステップ2 再度 [ミュート (Mute)] を押すと、ミュートはオフになります。

コールの保留

コールを保留にする

長時間にわたって保留されているコールに応答する

保留状態が長くなると、次のようなキューによる通知が表示されます。

アクティブコールと保留コールの切り替え

アクティブコールと保留中の通話の間を簡単に切り替える事ができます。

手順

[切替 (Swap)] を押して、保留コールに切り替えます。

コールパーク

パーク保留された通話は、忘れないようにネットワークによって監視されます。コールがパーク保留状態になっている時間が長すぎる場合、アラートが発せられます。その後、元の電話で応答、拒否、または無視することができます。引き続き、別の電話機から通話を受けることもできます。

所定の時間内にコールに応答しない場合、管理者が設定した別の接続先（ボイスメールまたはその他の宛先）に通話がルーティングされます。

コールパークを使用してコールを保留にする

電話機で応答したアクティブ コールをパークした後、コール制御システム内の他の電話機を使ってそのコールを取得することができます。

コールパーク番号にパークできるコールの数は1つだけです。

始める前に

コールがアクティブでなければなりません。

手順

ステップ1 [パーク (Park)] を押した後、電話を切ります。

ステップ2 (任意) パークされた番号を、コールに応答すべき担当者に伝達します。

コールパークを使用して保留中コールを取得する

コールパークは、次の2つの方法で設定できます。

- パークされた通話は電話機に表示され、ユーザが応答できます。
- ユーザは通話に応答するために表示された番号をダイヤルする必要があります。

Cisco Unified Communications Manager の [コールパーク (Call Park)] の [専用1回線 (Dedicate one line)] フィールドを設定して、この機能を有効または無効にします。デフォルトでは、この機能は有効です。

始める前に

コールのパークに使用された番号が必要です。

手順

通話がパークされたときの番号を入力して通話を取得します。

手動ダイレクトコールパークを使用してコールを保留状態にする

専用のコールパーク番号を使用してアクティブコールをパークしたり、取得したりできます。手動ダイレクトコールパークを使用すると、管理者が設定したダイレクトコールパーク番号にアクティブコールを転送できます。

手順

ステップ1 必須: ダイレクトコールパーク番号を入力します。

ステップ2 必須: もう一度 [転送 (Transfer)] を押して、コールをパークします。

手動ダイレクトコールパークを使用して保留中コールを取得する

専用のコールパーク番号にパークされたコールをピックアップできます。

始める前に

ダイレクトコールパーク番号およびパーク取得プレフィックスを知っておく必要があります。

手順

ステップ1 パーク取得プレフィックスをダイヤルします。

ステップ2 ダイレクトコールパーク番号をダイヤルします。

コールの転送

手順

自分の電話機からダイヤルするのとまったく同じ方法で転送先番号を入力するか、最近の通話履歴からエントリを選択します。

関連トピック

[セルフケア ポータル](#) (7 ページ)

通話の転送

アクティブコールを別の人に転送することができます。

別の担当者にコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、コールから自分を切断する前に、相手と個別に話をできます。話す必要がない場合は、他の担当者が応答する前に通話を転送します。

また、通話から自分を切断する前に、両方の通話者の間で切り替えて、両者とそれぞれ個別に話し合うこともできます。

手順

ステップ 1 別の担当者の電話番号を入力します。

ステップ 2 (任意) [短縮ダイヤル (Speed dials)] を押し、短縮ダイヤル番号を選択します。

ナビゲーションクラスタを使用して、短縮ダイヤルウィンドウ内を移動し、短縮ダイヤル番号を選択します。

ステップ 3 (任意) 着信音が鳴るか、相手がコールに応答するまで待ちます。

ステップ 4 再度 [転送 (Transfer)] を押します。


転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。転送を行う前に、元のコールと転送するコールを切り替えることもできます。

始める前に

アクティブ コールを転送しなければならない場合があります。

手順

ステップ 1 [転送 (Transfer)]  を押します。

ステップ 2 別の担当者の電話番号を入力します。

ステップ 3 [切替 (Swap)] を押すと、保留中のコールに戻ります。

ステップ4 [転送 (Transfer)] を押して転送を開始します。

電話会議とミーティング

会議コールに複数の参加者を追加する場合は、それぞれ数秒の間隔を空けて追加します。

会議ホストとして、会議から個々の参加者を削除できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

コールへの別のユーザの追加

コール中に別の人を通話に追加できます。

手順

ステップ1 通話中に、[会議 (Conf)] を押します。

ステップ2 番号を入力します。

ステップ3 [会議 (Conf)] を押します。

会議を確立する前にコール間を切り替える

通話相手を会議に追加する前に、その相手と会話することができます。また、その相手とのコールと会議コールとの間で切り替えることもできます。

手順

ステップ1 新しいコール参加者にコールしますが、その参加者を会議には追加しないでください。

コールが接続されるまで待機します。

ステップ2 参加者と会議の間で切り替えるには、[切替 (Swap)] を押します。

会議参加者の表示と削除

会議を作成した場合、会議に参加した最新の16人の参加者についての詳細を表示できます。また、参加者を削除することもできます。

スケジュール済み電話会議（ミーティング）

スケジュールされた時間に電話会議を主催したり、会議に参加したりすることができます。

電話会議は主催者がダイヤルインするまでは開始しません。また、すべての参加者が電話を切ると会議が終了します。主催者が電話を切っても、会議は自動的に終了しません。

ミーティング会議の開催

始める前に

管理者からミーティング電話番号を入手し、会議参加者にその番号を配布します。

手順

ミーティング電話番号をダイヤルします。

ミーティング会議への参加

手順

会議の主催者から提供されたミーティング電話番号をダイヤルします。

通話の録音

コールを録音することができます。コールの録音時に、通知トーンが聞こえることがあります。

手順

録音を開始または停止するには、[録音 (Record)] を押します。

ボイスメール

着席していない場合は、ボイスメールシステムを呼び出してボイスメールにアクセスすることができます。管理者は、外線電話番号を提供できます。



- (注) このドキュメントは、お使いの電話機の一部ではないため、ボイスメールの情報が限定されています。これは、社内で購入したサーバとファームウェアを使用した個別のコンポーネントです。ボイスメールの設定と使用の詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unity-connection/products-user-guide-list.html>にある *Cisco Unity Connection* 電話インターフェイスのユーザガイドを参照してください。

新しいボイスメッセージの確認

新しいボイスメールメッセージがあるかどうかを確認するため、不在着信やボイスメールメッセージの数が画面に表示されます。新しいメッセージの数が99を超えると、プラス (+) 記号が表示されます。

また、オフフックダイヤルを使用する場合、スピーカーで断続トーンが再生されます。この断続トーンは回線によって異なります。断続トーンは、ボイスメッセージがある回線を使用しているときにのみ聞こえます。

ボイスメールメッセージへのアクセス

現在のボイスメールメッセージを確認したり、古いメッセージを再度聞くことができます。

始める前に

各ボイスメールシステムは異なるため、管理者または IT 部門に問い合わせ、会社が使用しているシステムを確認してください。このセクションは、多くのお客様がその製品をボイスメールシステムに使用しているため、Cisco Unity Connection が対象です。ただし、会社が別の製品を使用している場合があります。

手順

ステップ 1 [メッセージ (Messages)] ボタン  を押します。

ステップ 2 音声プロンプトに従います。



第 3 章

連絡先

- [社内ディレクトリ\(Corporate Directory\)](#) (37 ページ)
- [パーソナルディレクトリ](#) (37 ページ)
- [Cisco Web Dialer](#) (41 ページ)

社内ディレクトリ(Corporate Directory)

電話機で同僚の番号を検索して簡単に電話をかけることができます。管理者がこのディレクトリを設定し、保守します。

社内ディレクトリの連絡先のダイヤル

手順

- ステップ 1** [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します
 - ステップ 2** 検索条件を選択します。
 - ステップ 3** 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
-

パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリを使用して、友人、家族、同僚などの連絡先情報を保管できます。パーソナルディレクトリに独自の連絡先を追加できます。よく通話する相手用の特別な短縮ダイヤルコードを追加できます。

パーソナルディレクトリは、電話機またはセルフケアポータルから設定できます。電話機を使用して、短縮ダイヤルコードをディレクトリエントリに割り当てます。

関連トピック


- [セルフケアポータル](#) (7 ページ)

パーソナルディレクトリのサインインおよびサインアウト

始める前に

パーソナルディレクトリにログインする前に、ユーザ ID と PIN（暗証番号）が必要です。これらの情報が不明な場合は、管理者にお問い合わせください。

手順

-
- ステップ 1 [連絡先]  を押します。
 - ステップ 2 [パーソナルディレクトリ (Personal directory)] を選択します。
 - ステップ 3 ユーザ ID と PIN を入力して、[送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ 4 サインアウトするには、[ログアウト (Log out)] を選択し、[選択 (Select)] を押してから [OK] を押します。
-


パーソナルディレクトリに新しい連絡先を追加する

手順

-
- ステップ 1 パーソナルディレクトリにサインインします。
 - ステップ 2 [個人用アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択して、[送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ 3 [新規 (New)] を押します。
 - ステップ 4 名、姓、およびオプションでニックネームを入力します。
 - ステップ 5 [電話 (Phones)] を押し、電話番号および必要に応じてアクセスコードを入力して、[送信 (Submit)] を押します。
-

パーソナルディレクトリの連絡先の検索

手順

-
- ステップ 1 [連絡先]  を押します。
 - ステップ 2 パーソナルディレクトリにサインインします。
 - ステップ 3 [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。
 - ステップ 4 検索条件を選択します。

ステップ5 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。

パーソナル ディレクトリ内の連絡先への発信

手順

ステップ1 パーソナル ディレクトリにサインインします。


ステップ2 [パーソナル ディレクトリ (Personal directory)] を選択して、エントリを検索します。

ステップ3 ダイヤルする個人アドレス帳のエントリを選択します。

ファスト ダイヤル コードの連絡先への割り当て

ファスト ダイヤル コードを使うと、連絡先へのコールが簡単になります。

手順

ステップ1 [連絡先]  を押します。

ステップ2 パーソナル ディレクトリにサインインします。

ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。

ステップ4 検索条件を選択します。

ステップ5 検索条件の情報を入力して [送信 (Submit)] を押します。

ステップ6 連絡先を選択します。


ステップ7 [ファスト ダイヤル (FastDial)] を押します。

ステップ8 番号を選択し、[選択 (Select)] を押します。

ステップ9 割り当てられていないファスト ダイヤル インデックスまでスクロールし、[送信 (Submit)] を押します。

ファスト ダイヤル コードを使用した連絡先への発信

手順

ステップ1 [連絡先]  を押します。

ステップ2 パーソナル ディレクトリにサインインします。

ステップ3 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択し、ファストダイヤルコードまでスクロールします。

パーソナルディレクトリの連絡先を編集する

手順

ステップ1 パーソナルディレクトリにサインインします。

ステップ2 [個人用アドレス帳 (Personal address book)] を選択し、エントリを検索します。

ステップ3 [選択 (Select)]、[編集 (Edit)] の順に押します。


ステップ4 エントリの情報を変更します。

ステップ5 [電話 (Phones)] を押して、電話番号を変更します。

ステップ6 [更新 (Update)] を押します。

パーソナルディレクトリから連絡先を削除する

手順

ステップ1 [連絡先]  を押します。

ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。


ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択し、エントリを検索します。

ステップ4 [選択 (Select)]、[編集 (Edit)]、[削除 (Delete)] の順に押します。

ステップ5 [OK] を押して、削除を確認します。

ファストダイヤルコードの削除

手順

ステップ1 [連絡先]  を押します。

ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。

ステップ3 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択し、ファストダイヤルコードを検索します。

ステップ4 必要なコードを選択して、[削除 (Remove)] を押します。

ステップ5 インデックスを選択して、[削除 (Remove)]を押します。

Cisco Web Dialer

Cisco Web Dialer、Web ブラウザ、および Cisco IP 電話 を使用して、Web アプリケーションやデスクトップ アプリケーションから電話を発信できます。Web ブラウザを使用して Web サイトまたは社内ディレクトリに移動し、ハイパーリンクの付いた電話番号をクリックするとコールが開始されます。

コールを発信するにはユーザ ID とパスワードが必要です。これらの情報は管理者から与えられます。初めて使用するユーザは、通話開始前に個人設定を行う必要があります。

詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-installation-and-configuration-guides-list.html>にある「『Cisco Web Dialer』」マニュアルを参照してください。



第 4 章

通話履歴

- [最近の通話リスト](#) (43 ページ)
- [最近の通話履歴を表示する](#) (43 ページ)
- [最近の通話履歴に戻る](#) (44 ページ)
- [最近の通話履歴を消去する](#) (44 ページ)
- [コールレコードの削除](#) (44 ページ)

最近の通話リスト

履歴リストを使用すると、最近の 150 件の個別コールおよびコールグループを確認できます。履歴リストが最大サイズに到達すると、次の新しいエントリによりリスト内の最も古いエントリが上書きされます。

コール履歴リストに含まれるコールのうち、同じ番号の発信先/着信元が連続している場合はグループにまとめられます。また、同じ番号からの不在着信もグループにまとめられます。


ハントグループを使用する場合は、次の点に注意してください。

- お使いの電話機がブロードキャストハントグループの一部である場合、ハントグループの他のメンバーが出た通話は、通話履歴に [受信された通話 (Received call)] と表示されません。

最近の通話履歴を表示する

最近誰からコールがあったかを確認できます。

手順


- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
- ステップ 2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

電話機がアイドル状態の場合、ナビゲーションクラスタを上を押すことによって通話履歴リストを表示することも可能です。

最近の通話履歴に戻る

一度コールがあった発信元には簡単にコールできます。

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。
- ステップ3 ダイヤルする番号を選択します。
- ステップ4 (任意) 番号を編集するには [ダイヤルの編集 (EditDial)] を押します。
- ステップ5 [通話] を押します。

最近の通話履歴を消去する


手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。
- ステップ3 [クリア (Clear)] を押します。
- ステップ4 [削除 (Delete)] を押します。

コールレコードの削除

[通話履歴 (Recents)] を編集して、1つのコールを履歴から削除できます。[通話履歴 (Recents)] には 150 コールしか保持できないので、こうすることで重要な連絡先情報を保持できます。

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。

- ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。
 - ステップ3 削除する個々のレコードまたはコールグループを強調表示します。
 - ステップ4 [削除 (Delete)] を押します。
 - ステップ5 もう一度 [削除 (Delete)] を押して確定します。
-



第 5 章


設定

- [呼出音の変更 \(47 ページ\)](#)
- [着信音量の調節 \(47 ページ\)](#)
- [コール中に音量を調節する \(47 ページ\)](#)
- [電話機の表示言語 \(48 ページ\)](#)

呼出音の変更

電話機が着信コールに使用する音を変更できます。

手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2 呼出音のリストをスクロールし、[再生] を押してサンプルを聞きます。
 - ステップ 3 [設定 (Set)] を押して、呼出音を使用します。
-

着信音量の調節

コールの着信音量が大きすぎるか小さすぎる場合は、音量を調節できます。着信音量の変更は、コール中の通話音量には影響しません。

コール中に音量を調節する

会議用電話の音量が大きすぎるか小さすぎる場合は、相手の声を聞きながら音量を調節できます。

電話機の表示言語

電話機は、多くの言語でテキストを表示できます。管理者が電話機で使用される言語を設定します。言語を変更する場合は、管理者に問い合わせてください。



第 6 章

の製品安全性とセキュリティ

- [安全性とパフォーマンスの情報 \(49 ページ\)](#)
- [準拠宣言 \(51 ページ\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要 \(53 ページ\)](#)
- [重要なオンライン情報 \(54 ページ\)](#)

安全性とパフォーマンスの情報

停電

電話機を経由して緊急サービスにアクセスするには、その電話機が電力を受信する必要があります。停電が発生した場合、電源が復旧するまでは、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルが機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルを利用する必要があります。

外部デバイス

不要な無線周波数 (RF) 信号および可聴周波数 (AF) 信号を遮断する高品質の外部デバイスを使用することをお勧めします。外部デバイスには、ヘッドセット、ケーブル、コネクタが含まれます。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処することをお勧めします。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証できません。



注意 欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

電話機への電力供給方法

次のいずれかの方法で携帯電話に電力を供給できます：

- 電話機に付属している電源アダプタを使用します。
- ネットワークが Power over Ethernet (PoE) に対応している場合、使用する会議電話をネットワークに接続することができます。

ご使用のネットワークが PoE に対応しているかどうか不明な場合は、管理者に確認してください。

ネットワーク輻輳時の電話機の挙動

ネットワークパフォーマンスの低下の原因となるものは、電話の音声に影響を及ぼすため、場合によっては、通話が中断される可能性があります。ネットワークパフォーマンスの低下は、次のような原因が考えられます。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃

UL 警告

デバイスに接続された LAN/イーサネットケーブルは、屋外に延長させないでください。

ENERGYSTAR



次の電話機は EnergyStar 認定を取得しています。

- Cisco IP 会議用電話 7832

製品ラベル

製品ラベルは、デバイス底で確認できます。

準拠宣言

EU への適合宣言

CE マーク

機器および包装に次の CE マークが貼付されています。



適合宣言（カナダ）

このデバイスは、カナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 規格に適合しています。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。(1) 本製品が干渉の原因となることはありません。また、(2) 本製品はデバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れる必要があります。この電話機を使用する場合、通信のプライバシーを確保できない可能性があります。

本製品は、該当する技術革新、科学および経済開発に関するカナダの技術仕様を満たしています。

Avis de Conformité Canadien

Cet appareil est conforme aux normes RSS exemptes de licence RSS d'Industry Canada. Le fonctionnement de cet appareil est soumis à deux conditions : (1) ce périphérique ne doit pas causer d'interférence et (2) ce périphérique doit supporter les interférences, y compris celles susceptibles d'entraîner un fonctionnement non souhaitable de l'appareil. La protection des communications ne peut pas être assurée lors de l'utilisation de ce téléphone.

Le présent produit est conforme aux spécifications techniques applicables d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada.

ニュージーランドへの適合宣言

接続許可（PTC）一般警告

端末装置の任意のアイテムに対するTelepermitの付与は、Spark NZがそのアイテムがネットワークへの接続のための最小条件を満たしていること認めたことを示しているに過ぎません。それはSpark NZによる製品の保証を意味するものではなく、いかなる種類の保証も提供しません。特に、ある品目が別のメーカーやモデルのTelepermit許可済み装置と組み合わせてあらゆる局面で正常に動作することを保証するものではなく、ある製品がSpark NZの全ネットワークサービスと互換性があることを示すものでもありません。

適合情報（ブラジル）

Art. 6º - 506

この装置はセカンダリタイプのデバイスです。つまり、同じタイプのデバイスによって引き起こされた干渉であったとしても有害な干渉に対する保護はなく、プライマリタイプのデバイスに対していっさいの干渉を引き起こすこともできません。

詳細は、次のURLを参照してください。 <http://www.anatel.gov.br>

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Site Anatel: <http://www.anatel.gov.br>

モデル	番号
7832	00748-18-01086

適合情報（日本）



クラス B 機器の VCCI コンプライアンス

FCC 準拠宣言

Federal Communications Commission（FCC; 連邦通信委員会）は、次の項目に関する準拠宣言を義務付けています。

FCC Part 15.19 宣言

本機器は、FCC ルール Part 15 に準拠しています。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。1) 本製品によって、有害な干渉が発生することはない。2) 本製品は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

FCC Part 15.21 宣言

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利は無効になります。

FCC RF 被曝に関する宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作マニュアルに従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。このトランスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があります。他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の仕様に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、有害な干渉を防止する適切な保護を規定したものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があります。手順に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合、装置のオン/オフを切り替えると干渉を確認できます。その場合は、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 装置間の間隔を大きくする。
- 装置をレシーバーとは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオまたは TV 技術者に支援を要請する。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国の法律の対象となります。Cisco の暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものと見なされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、<https://www.bis.doc.gov/policiesandregulations/ear/index.htm> をご覧ください。

重要なオンライン情報

エンドユーザライセンス契約書

エンドユーザライセンス契約書（EULA）は次の場所にあります。<https://www.cisco.com/go/eula>

『**Regulatory Compliance and Safety Information**』

Regulatory Compliance and Safety Information（RCSI）は次の場所にあります。

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cuipph/7832/regulatory_compliance/RCSI-0311-book.pdf